

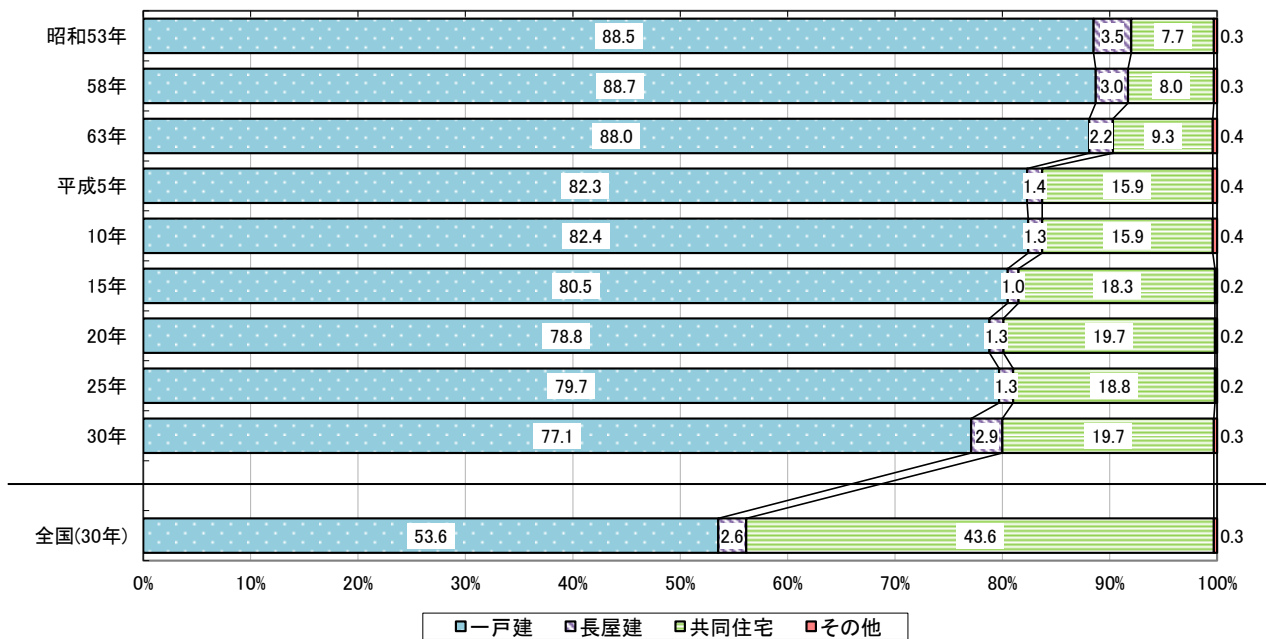
3 住宅の状況

富山県の総住宅数 452,600 戸のうち、居住世帯のある住宅（以下、単に「住宅」という。）は 390,900 戸。

(1) 住宅の建て方

一戸建率は 77.1%

図4 住宅の建て方別割合の推移—富山県(昭和 53 年～平成 30 年)



住宅 390,900 戸を建て方別にみると、「一戸建」は 301,400 戸、「長屋建」は 11,400 戸、「共同住宅」は 77,100 戸、「その他」は 1,000 戸となっている。住宅全体に占める一戸建の割合（一戸建率）は 77.1%（全国 53.6%）で、全国 3 位となっている。

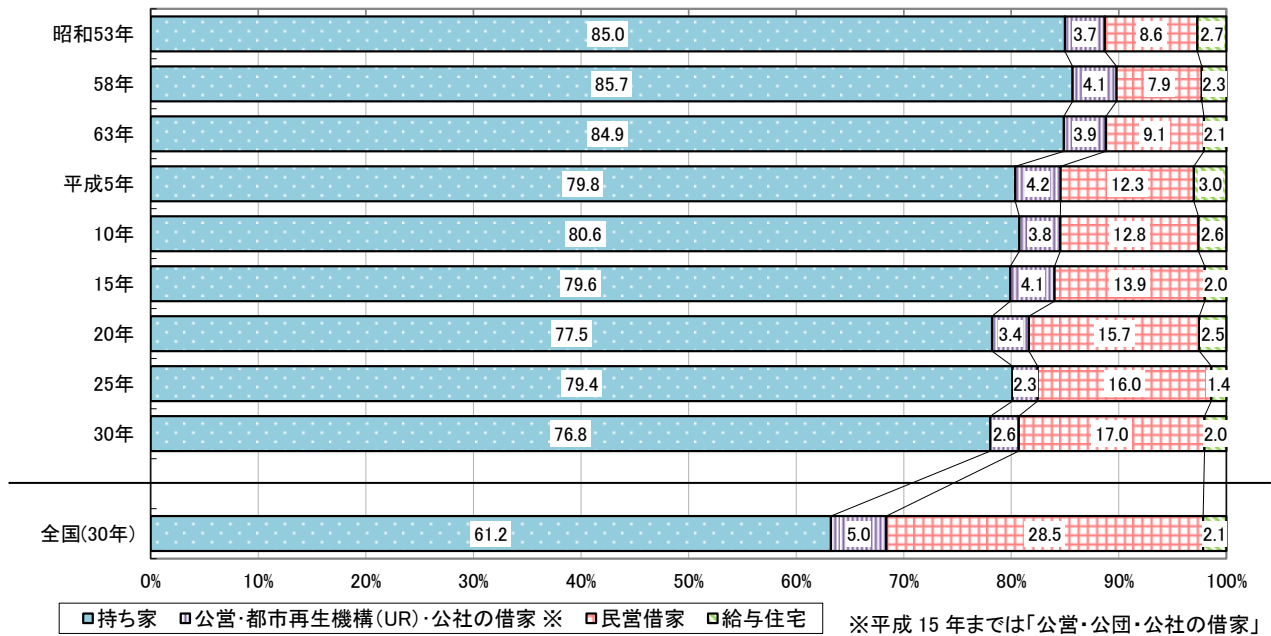
建て方別割合の推移をみると、「一戸建」の割合は昭和 63 年まで 88% 台となっていたが、平成 5 年以降は 80% 前後となり、低下傾向にある。一方、「共同住宅」の割合は上昇傾向にあり、平成 30 年には 19.7%（全国 43.6%）となり、住宅全体の約 5 分の 1 を占めている。

< 図 4 >

(2) 所有の関係

持ち家住宅率は 76.8%

図5 住宅の所有の関係別割合の推移—富山県(昭和53年～平成30年)



住宅 390,900 戸を所有の関係別にみると、「持ち家」が 300,100 戸で、住宅全体に占める割合(持ち家住宅率)は 76.8% (全国 61.2%) となっている。全国 1 位であった平成 25 年の 79.4% から 2.6 ポイント低下し、全国 2 位となっている。

持ち家住宅率の推移をみると、昭和 63 年まで 85% 前後となっていたが、平成 5 年以降はほぼ 70% 台にまで低下している。一方、「民営借家」の割合は上昇傾向にあり、平成 30 年には 17.0% (全国 28.5%) となっている。

< 図 5 >

(3) 住宅の規模

専用住宅の規模は全国トップクラス

図6 住宅の所有の関係別1住宅当たり延べ面積(専用住宅)－富山県、全国(平成30年)

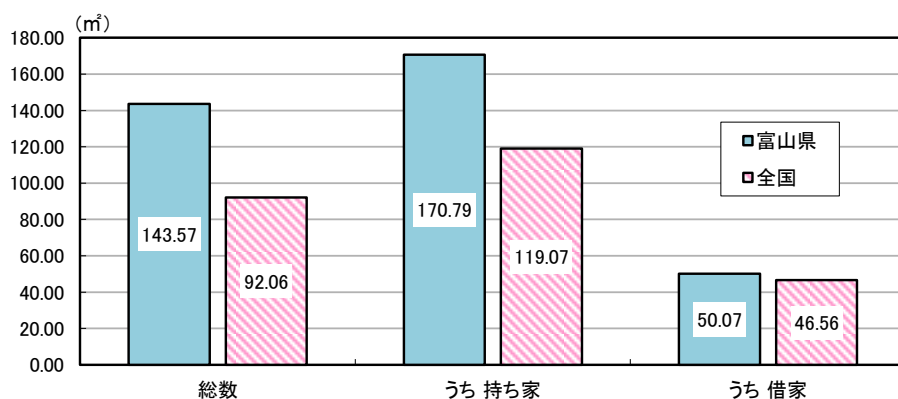
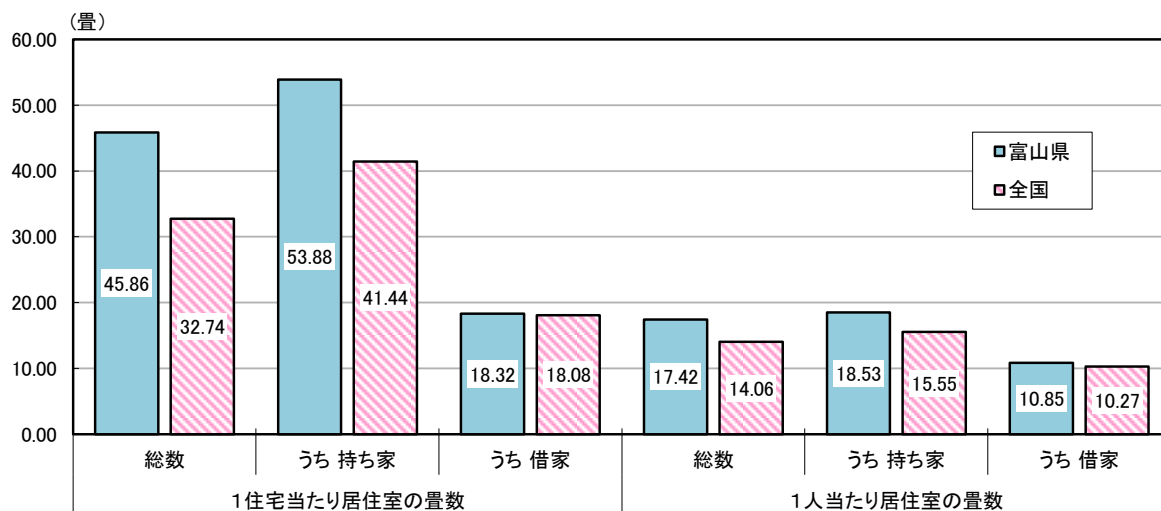


図7 住宅の所有の関係別1住宅当たり居住室の畳数及び1人当たり居住室の畳数(専用住宅)－富山県、全国(平成30年)



居住専用に建築された住宅(専用住宅)の1住宅当たり延べ面積は143.57㎡(全国92.06㎡)で、平成25年に引き続き全国1位となっている。これを住宅の所有の関係別にみると、持ち家は170.79㎡(全国119.07㎡)で全国1位となっており、借家は50.07㎡(全国46.56㎡)となっている。

専用住宅における1住宅当たり居住室(居間、茶の間、寝室など居住用の室)の畳数は45.86畳(全国32.74畳)で、平成25年に引き続き全国1位となっている。住宅の所有の関係別にみると、持ち家は53.88畳(全国41.44畳)で全国1位となっており、借家は18.32畳(全国18.08畳)となっている。

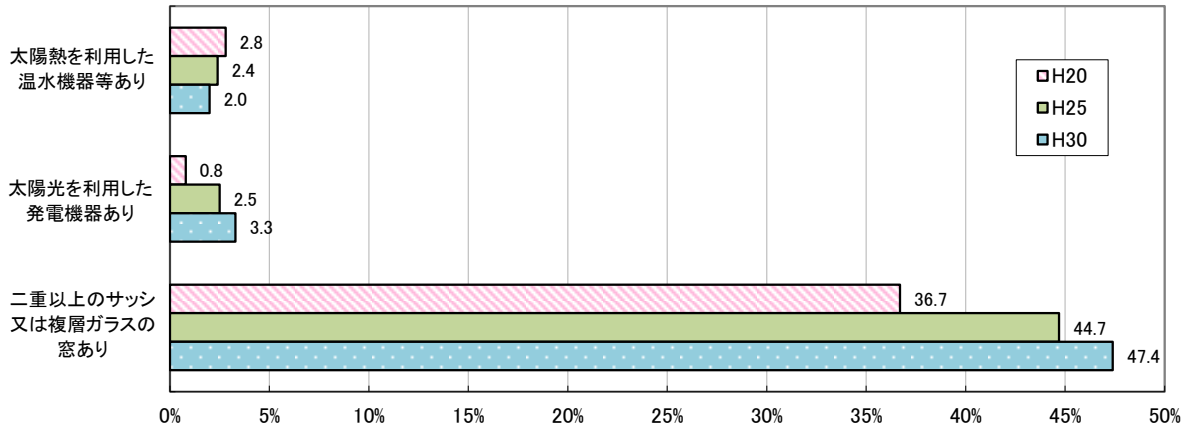
専用住宅における1人当たり居住室の畳数は17.42畳(全国14.06畳)で、平成25年に引き続き全国2位となっている。住宅の所有の関係別にみると、持ち家は18.53畳(全国15.55畳)で全国2位となっており、借家は10.85畳(全国10.27畳)となっている。

<図6、図7>

(4) 設備

半数近くの住宅に「二重以上のサッシ又は複層ガラスの窓あり」

図8 省エネルギー設備等のある住宅の割合－富山県(平成20年～平成30年)



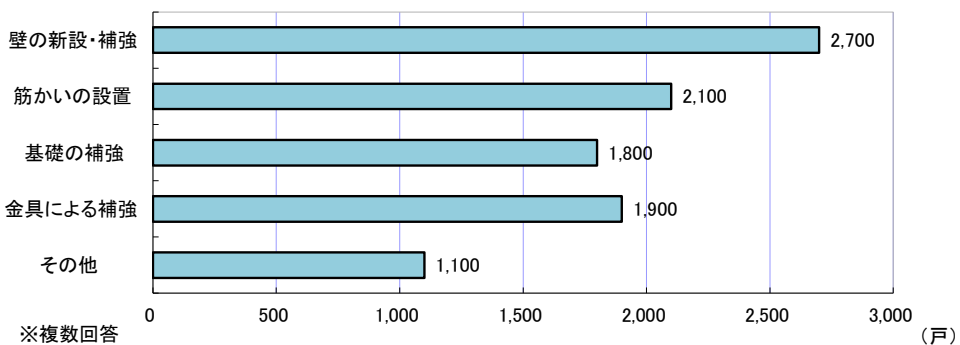
省エネルギー設備等のある住宅についてみると、「太陽熱を利用した温水機器等あり」は7,700戸で、住宅全体(390,900戸)に占める割合は2.0%(全国3.5%)となっている。「太陽光を利用した発電機器あり」は12,800戸で全体の3.3%(全国4.1%)となっており、平成20年からの10年間で約4倍に増加している。「二重以上のサッシ又は複層ガラスの窓あり」(すべての窓または一部の窓)は185,200戸となっており、全体の47.4%(全国29.0%)で全国8位となっている。

<図8>

平成26年以降に耐震診断が行われた持ち家は6.2%

平成26年以降に住宅の耐震診断が行われた持ち家は18,600戸で、持ち家全体(300,100戸)に占める割合は6.2%(全国9.1%)となっている。このうち、耐震性が確保されていた持ち家は16,600戸で、耐震診断が行われた持ち家全体に占める割合は89.2%となっている。

図9 平成26年以降における住宅の耐震改修工事の状況別持ち家数－富山県(平成30年)



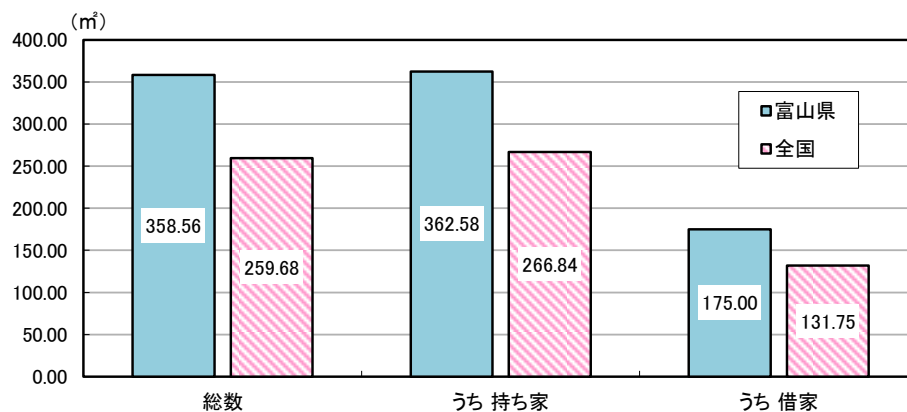
平成26年以降に耐震改修工事が行われた持ち家は5,200戸で、持ち家全体に占める割合は1.7%(全国1.8%)となっている。工事の内容(複数回答あり)をみると、「壁の新設・補強」が2,700戸と最も多く、次いで「筋かいの設置」が2,100戸、「金具による補強」が1,900戸、「基礎の補強」が1,800戸などとなっている。

<図9>

(5) 敷地

一戸建住宅の敷地面積は全国平均を上回る

図 10 住宅の所有の関係別一戸建住宅の1住宅当たり敷地面積—富山県、全国(平成 30 年)



一戸建住宅の1住宅当たり敷地面積は358.56 m² (全国259.68 m²)で、全国7位の広さとなっている。これを住宅の所有の関係別にみると、持ち家は362.58 m² (全国266.84 m²)で全国8位、借家は175.00 m² (全国131.75 m²)で全国1位の広さとなっている。

<図 10>